

# 新商品・サービス合同記者会見

# 県内8事業者がPR

## 食品や衣料品、日用品、飲食物など

## 得意分野や企画力生かす

県内中小企業・小規模事業者が新商品・サービスを報道関係者に披露する合同記者発表会（県地域産業振興センター、県よろず支援拠点主催）が27日、奈良市柏木町の県産業振興総合センターで開催された。県内8事業者がそれぞれの得意分野や企画力を生かした食品や衣料品、日用品、飲食物などをアピールした。

ウィズ・アフターコロナ時代の生活を見据えつつ、伴走型支援による新たな事業展開や販路・取引先拡大のきっかけづくりとして昨年度に続いて開催。今年は

発表会後のフォロー研修も加えた。各事業者は事業内容とともに、新たに開発した商品やサービスのコンセプトや顧客ターゲット、開発に関するストーリー、類似品と比べた優位性、今後の展開などを発表。新サービス、商品化を実現した技術力と実績、発想の斬新さも訴えた。



新しい商品やサービスを発表した事業者ら。2月27日、奈良市柏木町の県産業振興総合センター

このうち、サンロード（橿原市）は、微粒子の捕集性と息のしやすい通気性を両立し

た立体型帯電不織布マスク「LIKEAIR」を出品。「今後もマスク需要は期待できる。現在使用しているものと比べて良さを実感してもらえれば」と話した。

西垣靴下（大和高田市）は、ラグビー用靴下を生んだ技術力を生かし、他の球技でもパフォーマンスを向上させる5本指の靴下「ソックスラボ」フットボールを開発。「瞬発力を求められる球技に最適な、アスリート本位の靴下ができ」と力を込めた。

他の参加事業者、商品内容・サービスは次の通り

奈良祥樂（斑鳩町）古歴史ロマンをイメージした斑鳩産黒米を使った8種の和・洋菓子▽ラッコラ（奈良市）小麦粉・乳製品・卵・砂糖不使用にもこだわったヴィーガン（完全菜食）スイーツショップ▽ワールド・ヘリテイジ（奈良市）「Lunch&Coffee 鹿珈（ロカ）」で提供の薬膳キーマカレーを家庭で作れる県内漢方薬局監修のカレー粉▽一般社団法人「ES」（奈良市）食へることも染めることもできる新開発染料を体験できる草木染工房「奈良ねり染菜」を曾爾村に開設▽農業公園信貴山のどか村（三郷町）放し飼いの純国産鶏「さくら」の卵を使ったの

どか村天空さくらたまごプリン▽福角兄弟農園（宇陀市）2025年までの1畝の耕作放棄地開墾と、ウエルネスフーズとして育てる紫菊芋を使った商品の開発。

（順不同）

奈良祥樂（斑鳩町）古歴史ロマンをイメージした斑鳩産黒米を使った8種の和・洋菓子▽ラッコラ（奈良市）小麦粉・乳製品・卵・砂糖不使用にもこだわったヴィーガン（完全菜食）スイーツショップ▽ワールド・ヘリテイジ（奈良市）「Lunch&Coffee 鹿珈（ロカ）」で提供の薬膳キーマカレーを家庭で作れる県内漢方薬局監修のカレー粉▽一般社団法人「ES」（奈良市）食へることも染めることもできる新開発染料を体験できる草木染工房「奈良ねり染菜」を曾爾村に開設▽農業公園信貴山のどか村（三郷町）放し飼いの純国産鶏「さくら」の卵を使ったの

## 不適切投稿が22%減

携帯番号登録義務化でヤフーは2月27日、ニュース配信サイト「ヤフーニュース」で、誹謗（ひぼう）中傷を含む不適切なコメントが22%減少したとの調査結果を発表した。意見や感想を投稿する際に携帯電話番号を登録するよう昨年11月に義務化したことで一定の効果があつたと説明している。

義務化前の昨年10月と、義務化後の昨年12月〜今年1月の平均を比較した。ヤフーによると、規約違反となる書き込みを重ねたとして投稿停止措置を課したID数も56%減った。交流サイト（SNS）などインターネット上の誹謗中傷は、自殺者が出るなど深刻な社会問題となっている。IDを停止しても過去に取得した別のIDなどを使用

## 車8社1月世界生産2%減

### 半導体不足 春節影響

自動車大手8社が2月27日に発表した1月の世界生産台数は、前年同月比2.9%減の186万3557台だった。ホンダや日産自動車など5社がマイナスとなった。半導体不足に加え、今年是中国の春節（旧正月）が1月にあり、工場の稼働日が減少したことが響いた。部品調達難が和らいだトヨタ自動車など3社はプラスだった。

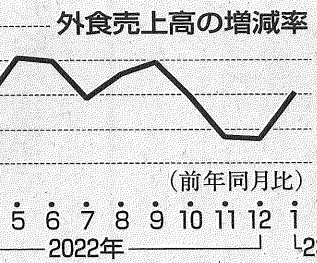
ホンダは新型コロナウイルス禍や中国生産の落ち込みで、21.7%減の28万757台だった。減少は3カ月連続。日産は25.1%減の22万4236台となり、4カ月連続で前年実績を下回った。SUBARU（スバル）は半導体不足による減産で22.3%減だった。

トヨタは8.8%増の68万9090台となり、2カ月ぶりに前年実績を上回った。一方、世界販売は春節の影響で5.6%減の70万9870台にとどまった。ススキの世界生産は22.9%増の29万5345台と大幅に増えた。インド生産が単月として過去最高だったことが寄与した。インドでは半導体調達可能な車種に注力した。

	世界生産	国内生産	世界販売
トヨタ	68万9090 (8.8)	21万1572 (30.1)	70万9870 (▲5.6)
スズキ	29万5345 (22.9)	8万2115 (58.4)	25万9497 (9.6)
ホンダ	28万0757 (▲21.7)	4万7193 (▲7.6)	25万2427 (▲25.3)
日産	22万4236 (▲25.1)	4万4431 (5.9)	22万8536 (▲25.8)
ダイハツ	14万0840 (9.9)	6万5976 (1.6)	9万7795 (22.7)
マツダ	9万8150 (▲6.0)	6万5491 (▲7.2)	9万3362 (▲7.4)
三菱自	8万4888 (▲6.0)	3万8674 (15.5)	6万0861 (▲22.6)
スバル	5万0251 (▲22.3)	3万0483 (▲24.0)	6万6061 (7.0)
合計	186万3557 (▲2.9)	58万5935 (13.4)	176万8409 (▲9.6)

※単位は台（）内は前年同月比増減率% ▲はマイナス。世界生産は国内生産と海外生産の合計。ダイハツはマレーシアの合弁会社プロトダの実績を含む。

日本自動車販売協会連合会調べ、全店ベース



日本自動車販売協会連合会調べ、全店ベース

日本フードサービス協会が2月27日に発表した1月の外食売上高（全店ベース）は、2019年の同じ月との比較で4.2%増となり、4カ月連続で新型コロナウイルス禍前の水準を上回った。前年同月比では15.3%増。原材料価格や光熱費

外食売上高の増減率 (前年同月比) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 23 2022年